

学校生活で一番の楽しみは、修学旅行という人もいるかもしれません。今年新型コロナウイルスの影響で、延期や中止の選択をす

る学校もありました。そもそも、修学旅行はなんのためにあるのでしょうか。この機会に考えてみませんか。(長田真由美)

国内修学旅行の主な行き先

順位	旅行先	件数	構成比 (%)
1	京都	450	23.1
2	奈良	381	19.6
3	東京	206	10.6
4	大阪	179	9.2
5	千葉	175	9.0
6	沖縄	90	4.6
7	広島	60	3.1
8	長崎	53	2.7
9	神奈川	51	2.6
10	兵庫	41	2.1

日本修学旅行協会の資料を基に作成。2018年度、全国の中学校を対象に実施



くらしの中から考える

修学旅行

日本修学旅行協会(東京)によると、修学旅行の始まりは明治時代。教員を育てる東京師範学校が一八八六年、東京から千葉県の銚子まで「遠足」したことがあった。遠足では、野外での軍事訓練や史跡の見学などをしてきた。現在の修学旅行は一九五八年に国が小中学校の正式な教育内容に位置づけ、全国で開始。ねらいは、普段と違う環境で、経験や知識を広めると、自然や文化に親しむこと、集団生活でより良い人間

◆ 教育的要素が薄い

一方、名古屋市の小学校の非常勤講師で、育児雑誌の編集もしている岡崎さん(六七)は「今は教育的な要素が薄く、本場に必要なのか」と疑問を投げかける。しっかりと事前学習をしようとする「十時間あっても足りない」。資料を読み解き、調べた内容を発表するなど学びが深まればよいが、授業時間も限られ、教員の力量にも左右されると

目的をもっと明確に

費用もかかる。名古屋市の場合、小学校は一泊二日で一人につき二万九千円、中学校は二泊三日で、一人五万八千七百円がめど。家庭によっては負担が大きいという。岡崎さんは「もっと目的を明確にした取り組みにするべきだ」と主張。例えば、自然と触れ合うキャンプや軽登山、仕事を体験するプログラムなど。「時代に合わせ、内容を見直しては」と話す。

◆ 学校生活の集大成

「学校生活の集大成」。よ

関係構築することなど。学校が予算や距離を考え、目的や行き先を決めている。二〇一八年度の中学校の行き先では京都や奈良、東京がベスト3にイラスト参照。東京デイズニールランドのある千葉や、平和学習のできる沖縄、広島、長崎も人気だ。

社会での力試す機会

活では得られない経験になる。「家族旅行とは違う。時間や健康管理も自分の責任。社会でこれからやっていると話す。長久手中学校では今年、新型コロナウイルスの感染リスクを減らすため、行き先を東京から金沢へと変えた。「修学旅行は一生もの。教育上の効果があり、大事にしてあげたかった」と言う。

修学旅行の思い出や記事について、意見、感想を送ってください。紙面で紹介したお子さんの中から抽選で図書カードをプレゼント。応募は☎460 8511 中日新聞(東京新聞)生活部「学ぶ」係=ファクス052(222)5284、メールseikatu@chunichi.co.jp=へ。QRコードから、ワークシート兼応募用紙もダウンロードできます。17日締め切り。



意見送ってください